



危険

以下の注意事項を無視し取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負ったり死に至る危険性があります。このキットは、正確に確実に配線しないと走行中エンジンが停止し、ブレーキの利が悪くなったりハンドルが重くなり、重大な事故を起こす可能性があります。必ずプロショップで配線を行ってください。

アンロックした状態で車を離れると車両の盗難の可能性が極めて高くなります。

イグニッションキーを挿している場合、機械的なハンドルロックが解除されているため、ロック中でも車両の盗難の可能性が通常車両より高くなります。盗難の危険が高い場所に駐車する場合は、キーシリンダーからキーを抜いてください。

重要同意事項:本キットが原因で発生したお客様の損害は、当社では一切、賠償の責を負いません。

同意できない場合は、取り付け前に規定に基づき返品してください。

ソニックスタートの使用にあたって(重要事項！！)

・本装置を使用する場合、必ずキーをイグニッションキーシリンダーに挿し、エンジンオンの位置まで回してください。

・キーシリンダーにキーを挿入しているとキーレスが無効の車種の場合、必ずキー挿入検知線を外してください。

・イージーエントリー機能(キーオフでステアリングが上昇)が付いている車両の場合、ACCオンでキー挿入線が有効になるようにリレーを使用してキー挿入線を有効にしてください。(詳細後述)

・ハザードアンサーバックする車両は、必ずキットの橙/白線を接続し、必ずJP5を外してください。(詳細後述)

・アンサーバックしない車の場合、ピックアップされるとエンジンがかかる状態になりますので盗難の可能性が高くなります。

この度は、キーレス連動ソニックスタートをご購入いただき、有難うございました。取付前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。

ソニックスタート基本キット製品構成

- ・コントローラー(赤2) 1個
- ・ヒューズ付き専用14ピンハーネス 1セット
- ・センサー用4ピンハーネス 1セット
- ・ACC用パワーリレー 1個
- ・スターター用パワーリレー 2個
- ・IG用パワーリレー 2個 (パワーリレー合計5個)
- ・サイレン 1個
- ・ブルーLED(マウント付き) 1個
- ・ダイオード 5本

配線説明

14ピンメインカプラー	説明と主な接続先
① 赤	+12V常時へ接続。(12V専用で24Vでは使用できません。)
② 橙	L端子へ接続。(エンジン始動中12V)
③ 黒	ボディアースへ接続。
④ 黄	スターター用パワーリレーの30端子へ接続。
⑤ 緑	イグニッション用パワーリレーの86端子。同リレーの85端子は常時12V。 スターター用パワーリレーの86端子。同リレーの85端子はACCリレーの87a端子。
⑥ 青	車両の運転席モーター片側ロック線へ接続。(+コントロール)
⑦ 紫	車両の運転席モーター片側アンロック線へ接続。(+コントロール)
⑧ 灰	ブレーキ線へ接続。(ブレーキを踏んだ状態で12V)
⑨ 白	イモビキャンセラーの青へ。
⑩ 茶	ACC用パワーリレーの86端子。同リレーの85端子は常時12V。
⑪ 赤/白	車両のドア開閉スイッチ(ドア開放で0V(ボディアース))
⑫ 橙/白 ※	純正ハザードアンサーバック線へ。(通常左右いずれかのウインカー線へ接続。)
⑬ 白/黒	後付スタートスイッチ(スイッチの片方はボディアース)
⑭ 黄/白	シフトがPポジションの線に接続。
注意事項	※ ハザードアンサーバックする車両は、必ず橙/白線を接続してください。

4ピンセンサーカプラー	説明と主な接続先
① 赤	センサー用電源 +12V
② 黒	アース(0V)
③ 青	センサー警報信号(重度異常検出)入力
④ 緑	センサー警告信号(軽度異常検出)入力

1. エンジン始動方法の詳細説明

- (1) アンロック時、シフトがPポジションの位置で、ブレーキを踏んだ状態で(この状態でLEDが点滅→点灯します。)、後付スタートスイッチを押すとエンジンが始動します。
 - (2) アンロック時、ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押すとACCがオンになります。その状態で、ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押すとACC+イグニッションがオンになります。その状態で、ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押すとACC+イグニッションがオフになります。以後、これの繰り返しになります。どの状態からでも、シフトがPポジションの位置で、ブレーキを踏んだ状態で、後付スタートスイッチを押すとエンジンが始動します。エンジン停止中、イグニッションは、3分後に自動的にオフします。また、エンジン停止中、ACCまたはイグニッションがオンの状態でドアを開けると警告します。(お知らせサウンド。警告しないも設定可。)
- ※ セルモーターを回して5秒以内にエンジンがかからなければ、ACC+イグニッションもオフになります。

2. エンジン停止方法の詳細説明

- (1) アンロック時、エンジンが始動しているとき、シフトがPポジションの位置で、後付スタートスイッチを押すとエンジンが停止し、イグニッションがオフになります。(ACCもオフになる設定も可能です。)ACCはドアを開けるとオフします。

3. キーレスでロック状態説明

- (1) キーレスでロックするとキュンキュンとアンサーバックし、自動的にセキュリティが作動します。後付スタートスイッチではエンジンは始動できません。
- (2) キーレスでアンロックするとキュンキュンキュンとアンサーバックし、自動的にセキュリティが解除されます。エンジンが始動できるようになります。

4. セキュリティの詳細説明 (以下の(2)、(6)は、JP5を外したときのみ有効。7項参照。)

- (1) ロック中に「ドアが開けられる」「後付スタートスイッチが押される」「ブレーキが踏まれる」「センサーが重度障害を検出する」(以後、異常事態)のいずれかで、30秒間サイレンが鳴ります。
- (2) ロック中エンジンが作動しているときは、異常事態またはPポジションでなくなると、エンジンを停止し、ACC+イグニッションをオフにし、30秒間サイレンが鳴ります。
- (3) サイレンが鳴っているときにリモコンのアンロックを押すとサイレンが止まります。
- (4) ロック中は、LEDが点滅し、セキュリティが作動していることを示します。(点滅させないも設定可)
- (5) ロック中バッテリーを外され、再度バッテリーを接続された場合、LEDが高速点滅し、30秒間サイレンが鳴ります。
- (6) 万一リモコンが壊れて、セキュリティが解除できなくなった場合、純正キーでドアを開け(サイレンが鳴ります。)、セキュリティ解除操作(後述)を行ってください。セキュリティが解除されエンジンが始動できるようになります。

5. セキュリティ解除操作の詳細説明 (JP5を付けた場合、鍵穴でセキュリティは解除できます。)

- (1) ドアを閉め、後付スタートスイッチを設定した回数押します。(約1秒に1回のペースで押します。)
- (2) ドアを開けます。
- (3) ブレーキを踏んだ状態で、後付スタートスイッチを設定した回数押します。(約1秒に1回のペースで押します。)
- (4) ブレーキを放します。
- (5) 後付スタートスイッチを押した回数が両方正しければ、セキュリティが解除されます。
- (6) 後付スタートスイッチを押す回数を間違えるとサイレンが30秒間鳴り、2分間セキュリティ解除操作はできません。
- (7) ドアの操作とブレーキの操作はどちらが先でもかまいません。
- (8) セキュリティ解除操作の後付スタートスイッチを押す回数設定は後述します。

6. 接続時の注意事項(重要事項！)

- (1) 配線が終わったら、専用ハーネス14ピンカプラーを挿してください。キュ！と音が鳴り、内部のコンピューターが学習しますので、再びキュ！と音が鳴るまでお待ち下さい。その間、キーレス・内部スイッチ・後付スタートスイッチ等は操作しないで下さい。
- ※ コントローラー内蔵のリレーでは、ACC電源やイグニッション電源を直接供給できませんので、必ず付属のパワーリレーをご使用下さい。

7. ジャンパー設定方法(コントローラーのケース上部の小窓のプラスチックをスライドさせるとジャンパーがあります。)

ジャンパーターミナル(黒い樹脂、以下JPT)を付けるか外すかで設定します。)

JP1:未使用。

JP2:未使用。

JP3:ロック中、付属のLEDをダミーセキュリティとして点滅させる:JPTを付ける。させない:JPTを外す。

JP4:ロック・アンロックしたときにサウンド出力させる:JPTを付ける。させない:JPTを外す。

JP5:ハザードアンサーバックする車両は、必ず⑫橙/白線を配線し、JPTは外して使用して下さい。セキュリティレベルはアップします。



左の写真はJP3がオープンでJP4、JP5がショートの場合(JP1、JP2は未使用)

8. 各種設定方法(本設定は、バッテリーを外しても保持されます。)

(1)項目の設定方法

- 1)アンロック状態で、ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを5秒以上押しと、LEDが点灯しサウンドが短く5回鳴り、設定モードになります。
- 2)後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回から5回鳴り、それぞれの項目の回数サイレンが鳴ったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く鳴って、各設定モードになります。

設定項目	サウンド回数	詳細説明
セキュリティ解除操作(ドア)	1回	セキュリティ解除操作においてドアを閉めて後付スタートスイッチを押す回数を設定します。設定範囲:1回~5回。
セキュリティ解除操作(ブレーキ)	2回	セキュリティ解除操作においてブレーキを踏んで後付スタートスイッチを押す回数を設定します。設定範囲:1回~5回。
お知らせサウンド	3回	ACCまたはイグニッションがオンのときにドアを開けると警告する、しないを設定します。
エンジンオフ後のACC動作	4回	エンジン作動中にスイッチでエンジンを停止したとき、ACCのオン、オフを設定します。
グロー時間設定	5回	イグニッションオンからスターターを始動するまでの時間を設定します。
スタートスイッチ有効時間設定	6回	アンロック後またはエンジン停止後、スタートスイッチを有効にする時間を設定します。

(2)項目1(セキュリティ解除操作ドアモード)の設定方法

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回から5回鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定は2回です。

(3)項目2(セキュリティ解除操作ブレーキモード)の設定方法

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回から5回鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定は3回です。

(4)項目3(お知らせサウンド)の設定方法

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回(お知らせサウンド無効)または2回(有効)鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定は有効です。

(5)項目4(エンジンオフ後のACC動作)の設定方法

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回(ACCオフ)または2回(ACCオン)鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定はオンです。

(6)項目5(グロー時間設定)の設定方法(ディーゼル車用の設定です。ガソリン車は設定不要です。)

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回から6回鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定は0秒です。

1回:0秒	2回:1秒	3回:2秒	4回:3秒	5回:5秒	6回:10秒
-------	-------	-------	-------	-------	--------

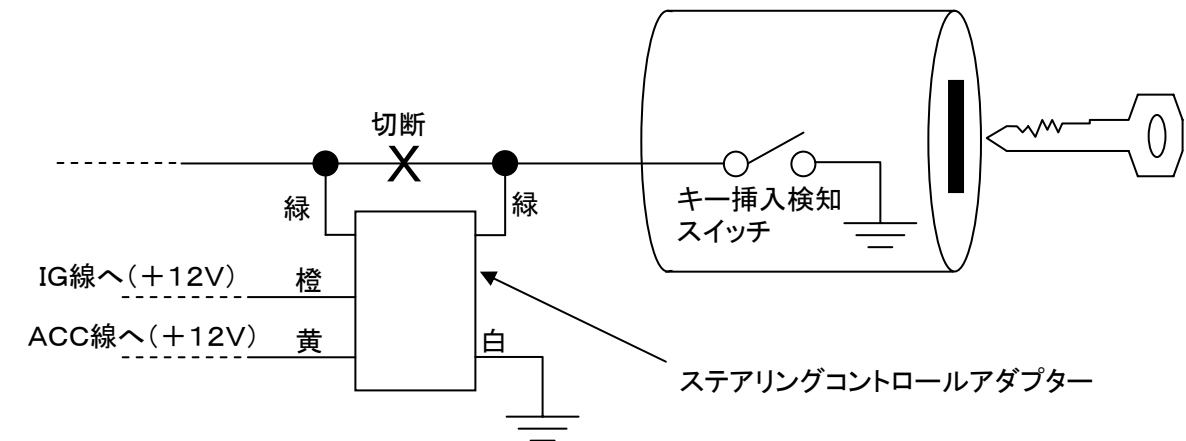
(7)項目6(スタートスイッチ有効時間設定)の設定方法

ブレーキを踏まずに、後付スタートスイッチを押す度に、サウンドが短く1回から6回鳴ります。設定回数になったところでブレーキを踏みます。サウンドが短く5回鳴り、設定モードから抜けます。初期設定は無制限です。

1回:1分	2回:3分	3回:10分	4回:30分	5回:60分	6回:無制限
-------	-------	--------	--------	--------	--------

9. 参考

- ・純正のキーをキーシリンダーから抜いたときにステアリングが上昇し、キーを挿入したときにステアリングが下降する車両(イージーエントリー機能)にソニックスタートを実装した場合、この機能が正しく動作しない場合があります。
- ・別売のステアリングコントロールアダプターを使用することにより、正しく動作させることが可能になります。
- ・キー挿入検知線を切断し、ステアリングコントロールアダプターの緑と緑に接続してください。
- ・ステアリングコントロールアダプターの橙線をIG線に、黄線をACC線に、白をアースに接続してください。



イージーエントリー機能付車のキー挿入検知線の配線方法

10. 社外エンジンスターター使用時の注意事項

- ・社外のエンジンスターターを使用する場合、別売のセンサーの電源線にリレーを入れてください。(配線図参照)リレーを入れないとロック中、社外のエンジンスターターでエンジンを始動するとセンサーが反応し、サイレンが鳴る場合があります。



基本結線図

※ パワーリレーの87線は緑の場合もあります。

■ 配線するときは必ずコネクタを抜いて作業してください。

● は、接続を表す。

— の太線は、AWG14(断面積2mm²)以上の電線でできるだけ短く配線してください。

